

エネルギーに関する視察研修会 報告書

- 開催日 平成 28 年 9 月 12 日（月）
- 視察先 島根県企業局西部事務所、江津高野山風力発電所（島根県江津市）
- 目的 風力エネルギーの見識を深める
- 参加者 15 名（事務局 2 名を除く）
- 主催 三原商工会議所 環境エネルギー委員会

本所環境エネルギー委員会（須崎裕之委員長）では、9 月 16 日（水）、エネルギーに関する視察研修会を実施しました。

当委員会では、本年度、再生可能エネルギーのひとつである風力エネルギーを調査研究することとしており、「島根県企業局西部事務所」と「江津高野山風力発電所」を訪問しました。

島根県企業局西部事務所で DVD 視聴

はじめに、西部事務所長よりご挨拶いただいた後、企業局の事業概要と江津高野山風力発電所について DVD を視聴しました。

<企業局の事業概要の DVD 視聴>

・電気事業

企業局では、水力・風力・太陽光の再生可能エネルギーを活用し、地球環境にやさしい電気を生産しています。

水力発電所は、三成ダムをはじめ島根県内 12 ヶ所あり、約 31,000 軒分の電力をまかっています。

風力発電所は、隠岐大峯山風力発電所に 3 基、江津高野山風力発電所に 9 基の風車が建設されています。

企業局が供給する電力は、全体で約 10 万 t の二酸化炭素の削減効果をもたらしています

・水道事業

企業局では浄水場で作ったおいしい水も供給しています。また、森林を守るなど環境に配慮した取り組みを行っています。

生活に欠かせない電気や水を上手に使うことの大切さを再認識しました。



<江津高野山風力発電所のDVD視聴>

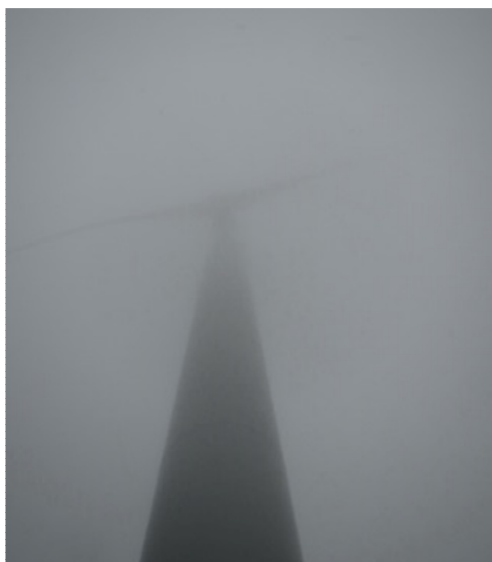
江津高野山風力発電所では、国内最大級の風車が9基建設されています。風車のタワーの高さは80m、羽根（ブレード）の直径は90m、全体の高さは125mで30階建てのビルに相当します。この風車はドイツ製で、常に風の吹く方向を向き、風切音が少ないように設計されています。

また、江津高野山風力発電所の年間の発電電力量は約3,800万kWhで、約10,400世帯分（江津市の世帯数の約87%）に相当します。これは、年間約21,000tの二酸化炭素削減（自家用車約7,300台分の年間排出量）、年間約9,600kLの原油削減（200Lドラム缶約48,000本分）の効果をもたらしています。

参加者からは建設費用やコスト面などについて質問があり、担当者から説明を受けました。

江津高野山風力発電所の現地見学

風車タワーの内部を見学する予定でしたが、あいにくの悪天候により、外観のみの見学となりました。また、バスの車内で質疑応答を行いました。



しまねお魚センター

島根の鮮魚や加工品・特産品を取り扱う「しまねお魚センター」に立ち寄りました。

参加者の感想

多くは「天候が悪くて残念だった。」という感想でしたが、「ビデオ放映、現場の方の説明など、丁寧に対応だった。」「維持費、メンテナンス等、苦労している生の声を聞くことができた。」など、視察内容は「よかった」との声もいただきました。

